

事務事業名	場外馬券場周辺環境整備事業	所属部	三刀屋総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	自治振興グループ	課長名	永井 厚守
	施策名	(09)都市・住まいづくりと土地利用の推進	担当者名	味田 晃子	電話番号	0854-45-2111
	目的:対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。	(内線)	4305
	基本事業名	(028)居住環境の整備促進	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 0 2	自治振興事業 場外馬券場交付金事業	
目的:対象	市内全域	意図	居住環境を整備する。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・場外馬券場の売得金から600万円/年が、場外馬券場周辺整備と旧三刀屋町の地域振興を目的として交付されている。 ・市は、その交付金全額を基金として積み立てている。 ・その基金から毎年必要額を一般会計に繰り入れ、場外馬券場周辺整備と旧三刀屋町の地域振興などを行っている。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	①売得金調査事務 ②環境対策協議会の開催 ③環境整備業務委託発注	①売得金調査事務 ②環境対策協議会の開催 ③環境整備業務委託発注			
		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	環境整備実施箇所	箇所	20	17	17	12
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	・三刀屋町住民 ・場外馬券場周辺地域住民	ア	三刀屋町住民	人	7,296	7,166	7,000	6,900
		イ	周辺地域住民数(旭町2、地王、東町)	人	455	447	439	430
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
・事業実施により、場外馬券場周辺等の環境整備を図るとともに、市道修繕や防犯施設の設置を行うことで、周辺地域住民に安心・安全で快適に過ごしていただく。	ア	要望件数	件	20	17	17	12	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
・修繕費 2件 940千円 ・手数料 9件 464千円 ・工事請負費 3件 3,326千円 ・備品購入費 3件 1,246千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	5,946	5,983	5,976
		一般財源	千円			
		事業費計(A)	千円	5,946	5,983	5,976
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	150	150	150
		人件費計(B)	千円	595	612	650
		トータルコスト(A)+(B)	千円	6,541	6,595	6,626

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成17年度1,534万円(売得金の1%)の交付金があったが、平成18年度からは定額の1,000万円となり、平成21年度からは更に減額され600万円となり現在に至る。 平成30年度JRAの勝馬投票券の発売・払戻しが実施されることにより、交付金について1年後再検討することとなっている。	平成26年度パオー周辺対策整備計画(H26-H35)を策定。事業費を増額し、周辺の環境整備を行っている。 また、「パオー三刀屋環境対策協議会」において、実施計画の確認、今年度優先的に行う事業等地域からの要望によって実施している。	平成30年度末現在の基金残高が約6,474万円と基金積立額も多くなっていることから、目的に沿って三刀屋町全体で有効的に活用するようとの意見もある。

事務事業名	場外馬券場周辺環境整備事業	所属部	三刀屋総合センター	所属課	自治振興課
-------	---------------	-----	-----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 事業費の増額と計画的な事業実施により、交付金の有効活用と周辺環境整備の充実が図られると考える。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 これまで行ってきた防犯対策、道路側溝修繕、河川浚渫などの環境整備や、環境向上整備ができなくなることで、周辺環境が悪化することが考えられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由 現状は、特定地域に限定した環境整備事業であるため、統廃合、連携はできない。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 河川の浚渫や道路安全施設設置等、地域では対応できない事業内容が多くなっており、事業費の削減は望めない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 平成27年度までは、事業管理課と連携し事業実施していたが、事業管理課が本庁集約となり、自治振興課の職員だけで設計・発注等の業務にも対応することになり、これ以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 場外馬券場周辺地域への環境維持整備、安全設備整備等の実施を目的とした事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) この事業により場外馬券場周辺の生活環境は向上してきている。今後、地域住民と協議の上、周辺環境の整備や防犯・交通安全対策だけでなく、教育、福祉の分野での事業実施や、対象地域の拡大も含めた検討が必要である。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
周辺地域整備計画(当面5ヶ年)を立てることにより、交付金600万円/年の有効活用を図るとともに計画的に環境整備を行う。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		